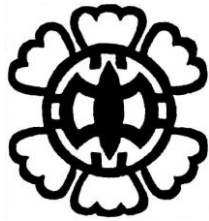
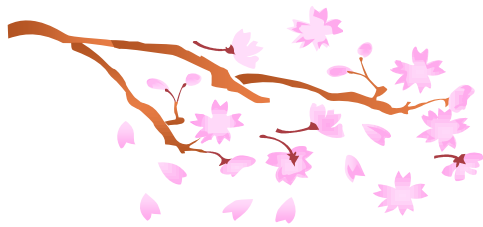


# 学習の手引き



佐賀市立東与賀中学校

年	組	号	氏名
1年	組	号	
2年	組	号	
3年	組	号	



はじめに

東与賀中学校教育目標

心豊かで、たくましく生きる生徒の育成

めざす生徒像(心豊かな生徒・たくましい生徒・夢を語れる生徒)

## 【東与賀中学校学習の手引き】

～～～夢と希望を実現するために～～～

中学生の時代は、人間成長の出発期です。この時期にどう考え、どんな毎日を過ごしたかで、その人の一生の暮らし方と考え方が決まるといっても過言ではないでしょう。この大切な時期の生活習慣や学習習慣を充実確立させ、将来、世の中の役に立つ人になるためには、人生の目標(将来の望み)とそのための身近な目標(1、2年後の望み)が必要です。そして、自分の人生を生きていくためには、【自分の力で判断し、行動する力】を身につけることが大切です。

さて、中学3年間をどう過ごせばいいのでしょうか。一番大切なのは時間を有効に使うことです。時間のないみなさんの、家庭での自主学習のためにこの手引きを作りました。目指すのは【「自学・自習」の習慣】を身につけることです。この「手引き」を上手に利用して、まずは実行してみましょ。そして自分なりの「学ぶ」方法を早く見つけることです。自分の力で努力することが大切なのです。

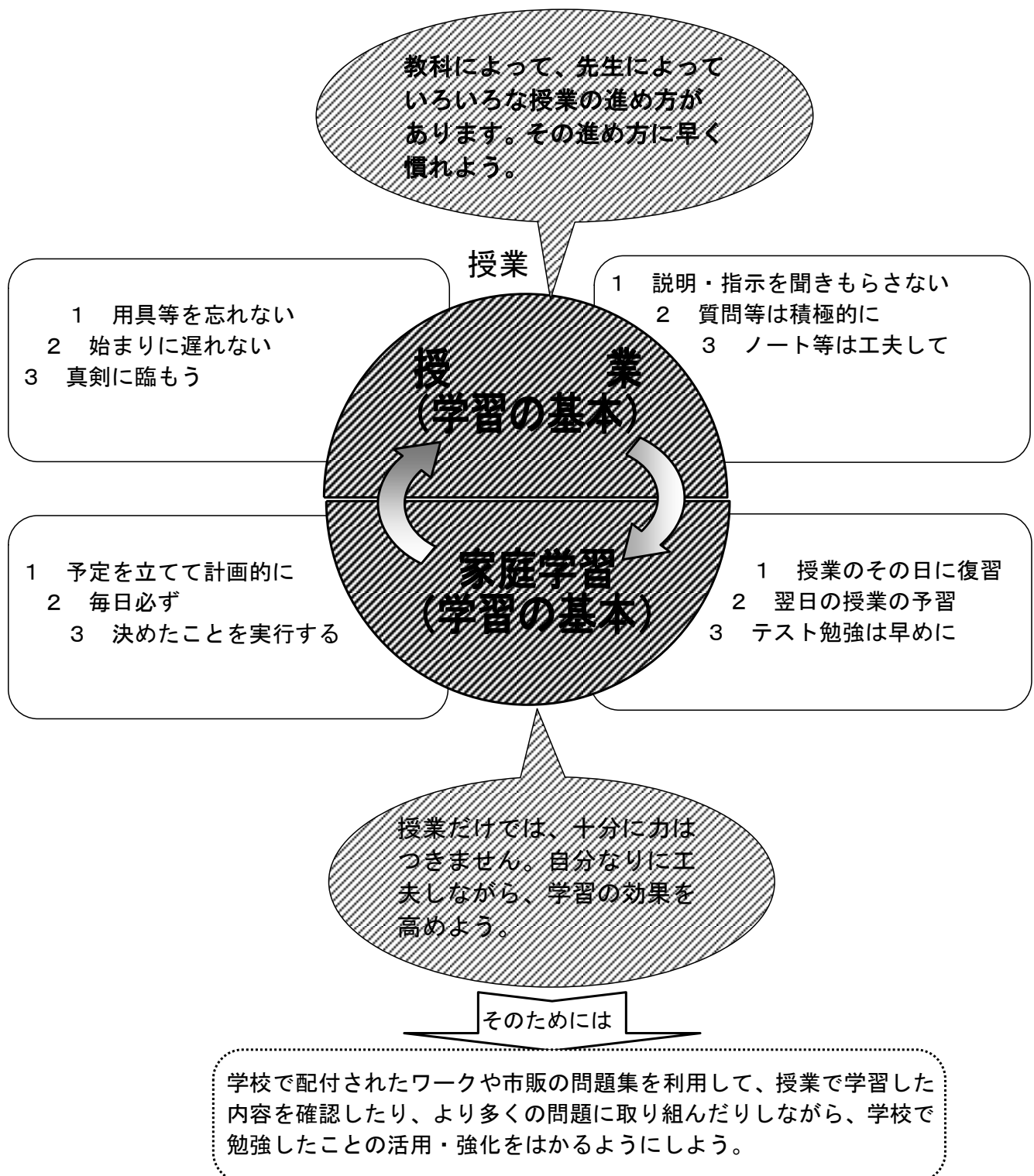
【手引きの内容】(各教科により、多少違いがあります)

- ① 学ぶ意義・必要性(どんな教科で、何のために学ぶのか)
- ② 授業中(何を学んで、どんな力を身につけるのか)  
・基本的な態度・ノートのと리카た・話の聞き方
- ③ 家庭学習・学び方(どんな方法で学べばいいのか)  
・予習と復習のしかた
- ④ その他・学習の楽しさ・約束事

自分の夢や希望を実現するために、頑張りましょう。

# 授業と家庭学習の循環で学習の効果が上がる

## 【学習の構造図】

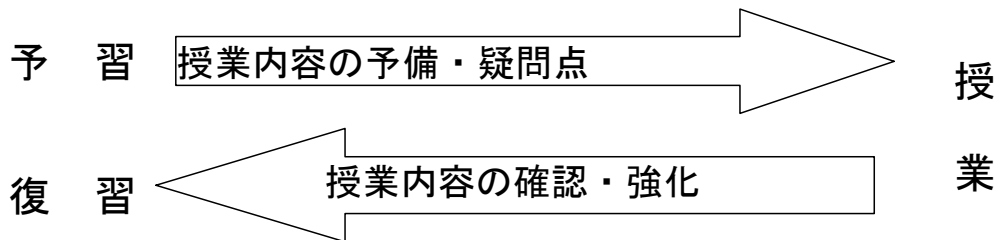


## 【学習の効果を上げるために】

### 勉強のサイクルをつくる

\* 家庭学習と学校での授業を一つのサイクルにしよう

- \* 教科書を使って、授業で学習することをあらかじめ知る
- \* 教科書を読んだり、語句の意味を調べておく



- \* 教科書やノートを見直し、授業で学習したことを整理する\*
- \* 自学ノート（1日1P）も活用する\*

### 家庭学習の習慣化を図る

時間

毎日必ず勉強時間を設ける。  
勉強する時間帯を決める。集中できる時間を伸ばす。

場所

勉強する場所を固定する。  
必ずしも自分の部屋だけが勉強する場所ではない。

環境

勉強に集中できるように環境を整える。  
たとえば、テレビを切るゲームを止めるまんがを片付けるなど

### 生活リズムの確立

早寝

早起

朝ごはん

生活リズムが不安定では、家庭学習は充実しません。  
生活リズムが確立できない理由を考えましょう。

たとえば、  
部活動（校外クラブ）は体力を使います。最低限勉強する時間を確保する。習い事や学習塾は、曜日や時間が決まっています。  
テレビ、ゲーム、まんがは、自分でコントロールできます。  
携帯電話（携帯メール）は、最近では危険性が高いこともあります。

## 【テスト勉強計画の立て方】

### テスト勉強は

定期テストは、授業で学習したことが出題されます。日頃の授業をきちんと受けることが大切です。しかし、出題範囲や内容は多くなりますので、早めに取り組む必要があります。早ければ早いほど余裕をもって進めることができます。

### テスト勉強の計画

#### 2週間前頃

出題される範囲や内容について、授業中に説明されたり一覧表が配付されたりします。範囲や内容を確認して、予定を立てましょう。

1年 組 号(氏名)

＜テスト勉強のために＞

- ①勉強する時間と時間帯を決める。決めた時間帯と時間を守る。そのためにテレビやマンガを見ない、ゲームをしないなど、テスト勉強を中心とした生活に切り替えること。  
 ②内容は、できるだけ具体的に決めること。内容と時間は、適宜調節していく。  
 ③塾だけですませず、自分に合わせてテスト勉強をする。  
 \*部活動は、3日前からテスト休みです。

日	曜	教科	内容(できるだけ詳しく、具体的に書こう)	時間帯	時間(分)	チェック
○ / □	*	社会	歴史教科書～p23を3回読んで、ワークを1pする。	20:00～20:30		
		英語	英単語を～p2810回ずつ書いて覚える。	20:30～21:00		
				: ~ :		
○ / □	*	数学	教科書 ～p18とワーク～p25の練習問題を解く	19:00～19:30		
		理科	教科書 ～p58の要点をノートに整理する。	19:30～20:00		
				: ~ :		
○ / □	*			: ~ :		
				: ~ :		
				: ~ :		

# ノートの取り方

(ノートの使い方を工夫しよう)

ノートは、君たちの学習の記録であり、成長の記録でもあり、この世に1冊しかない大切な宝物です。  
ノートの取り方一つで、理解度が大きく伸びる可能性があります。  
復習などをするとき、自分のノートを見れば「よくわかる」というノートをつくりましょう。ノートは、自分だけの参考書です。

## 黒板の丸写しはやめよう !!

あとで「学び」やすいように、自分で工夫することが大切です。

- 大きくわかりやすい文字で書く。鉛筆の芯 (HB.B)
- 図や絵を書く。
- 色を使う。例えば重要→赤色 補足→緑色 説明→青色
- 先生をつぶやきを的確に書く。
- 間違ったところを残す。間違いを消しゴムで消してはいけない。  
※赤で訂正。もしくは、訂正を余白に赤で残す。
- 余白を十分にとる。
- インデックスをつける。

$$\begin{aligned} 3(2x-1)-2(4x-5) \\ = 6x-3-8x+10 \\ = 6x-8x+10-3 \\ = -2x+7 \end{aligned}$$

★縦に伸ばして書く!

- 数式は、縦に伸ばして書く。

- 項目名と内容の区別が分かりやすいようにする

★文字をずらして書く!

百姓一揆  
百姓が団結して年  
軽減や不正な役人  
の交の軽減や不正  
な役人代を要求す  
ること。

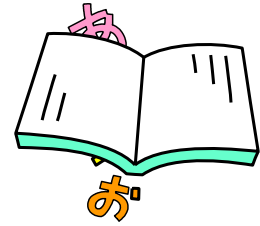
百姓一揆  
百姓が団結  
して年貢軽  
減や不正な  
役人の交の  
軽減や不正  
な役人代を  
要求するこ

「確かな学力」を身につけるための

## 学習の手引き

1	はじめに	P 1
2	学習の構造図	P 2
3	ノートの取り方	P 5
4	各教科の学習の手引き	
	○国語科	P 7
	○社会科	P 8
	○数学科	P 9
	○理 科	P10
	○英語科	P11
	○音楽科	P12
	○美術科	P13
	○保健体育科	P14
	○技術・家庭科	P15
5	テスト勉強計画の立て方	P16

# 国語科



## 1 国語科で何を学ぶのか

国語科の学習では、小説・論説文・説明的文章・韻文・古文などの学習をとおして、表現力や読解力、言語能力(語彙力・文法的な力・書写の技能)を身につけることを目標としています。つまり、国語科では、目的や場面に応じて適切に表現する能力を身につけ、社会生活に必要な伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を豊かにする学習をしていきます。

## 2 授業中は

- (1) 50分間集中して取り組む心構えを常に持ちましょう。
- (2) 自分で調べたことやわかったことを進んで発表しましょう。
- (3) 先生の指示や説明、友達の意見、発表をよく聞きましょう。
- (4) ノートをきちんととりましょう。(板書事項だけでなく、聞いたことをメモしたり、大切なポイントに印を付けたりする。とにかくノートに足跡をしっかりと残すこと。)

し  
り

## 3 家庭では

### ○予習の仕方

- (1) 声を出して教科書を読みましょう。3回は音読しましょう。
- (2) 新出語句(読み、意味、熟語)を確認し、練習しましょう。
- (3) わからない言葉の意味を辞書で調べましょう。(国語辞典は必需品です。)

### ○復習の仕方

- (1) 今習っているところの音読・漢字練習をしましょう。
- (2) ノートやワークブックを使って復習しましょう。
- (3) テストの後にはもう一度解き直し、わかるようにしておきましょう。

◎ 国語の学習は、これに取り組みばすぐに力がつくというのではなく、地道な毎日の積み重ねが大切です。

読書に親しみ、分からない漢字や言葉の意味は辞書で調べます。本や新聞をよく読むことで自然と国語の力がついてきます。

# 社会科



## 1 社会科で何を学ぶのか

社会科は、われわれ人間社会の生活のしくみやきまりについて学習し、社会人として民主的で平和な国家や社会を形成するための知識や教養・資質を身につける教科です。学習する内容は、「地理」「歴史」「公民」の3分野です。地理的分野では日本や世界のさまざまな地域の自然や人々の生活を、歴史的分野では人々の歩んできた歴史を、公民的分野では人々の生活を豊かにする政治や経済のしくみを勉強します。

## 2 授業中は

- (1) 自分の力で調べたり、考えたりすることを大事にし、積極的に手を挙げて発表するようにしましょう。
- (2) 先生の話はもちろん、友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えと比較しましょう。
- (3) ノートを書き終わってなくても、先生の説明が始まったら目を見ながら聞きましょう。
- (4) 板書されたことばかりでなく、自分の考えや疑問に思ったこと、ポイントなどをノートに自分の言葉でまとめましょう。
- (5) 疑問点はそのままとせず、必ず質問し、どのようにすれば解決できるのか考えましょう。
- (6) 教科書、資料、地図帳を有効に活用しましょう。

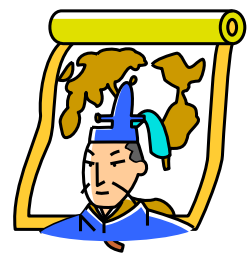
## 3 家庭では

### ○予習の仕方

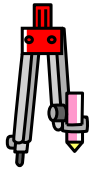
- (1) 教科書の次の時間に学習する範囲を読んでおきましょう。
- (2) 重要と思った部分、分からなかった部分、質問してみたい部分にアンダーラインを引いたり、ノートに書き出したりしておきましょう。
- (3) 教科書の学習課題についても、自分なりの予想を立てておきましょう。

### ○復習の仕方

- (1) 宿題が出された場合は、必ず取り組み、提出しましょう。
- (2) その日のうちに授業内容の復習を行い、範囲内のワークを解く習慣をつけましょう。



◎ 社会の動きを知るために、新聞やニュースなど毎日見るようにしましょう。また、テレビの中にも世界のことや歴史のことについてのおもしろい番組もあります。



# 数 学 科



## 1 数学科で何を学ぶのか

数学は考える教科です。数学の知識を身につけることも大切ですが、学習を通して「論理的思考力」を養うための教科なのです。「なぜそうなるのか」という誰もが納得できる「筋道の立った思考力」を身につけることは、生きていく上でとても大切な力になります。身の回りで起きる複雑と思われることがらも数学的に考えてみると、問題点を簡単に整理でき、解決できることも多くあります。また、数学の問題を解くことで、「読解力」「発想力」「判断力」「応用力」などの力も養うことができます。生活をしていく上で、数学の力をつけることは、以上のことで大切です。

そこで、数学の勉強が楽しくなるように、数学の勉強の仕方がまだわからないと言う人は、次のようなことに気をつけて勉強してみましょう。

## 2 授業中は

- (1) 予習し、何を学習するのか、わからないことをはっきりさせて授業に臨みましょう。
- (2) 忘れ物はしない。授業に必要な学習道具はきちんとそろえましょう。
- (3) 先生の説明、友達の意見は集中してよく聞きましょう。
- (4) まずは、自分の力で考えましょう。進んで自分の考えを発表しましょう。
- (5) 友達と「学び合い」をして、学習を深めましょう。
- (6) わからなかったことは、その日のうちに先生や友達に進んで質問し、「なぜ」そうなるのか、解き方を理解しましょう。
- (7) 他に違った考え方や解き方がないか考えましょう。

## 3 家庭では

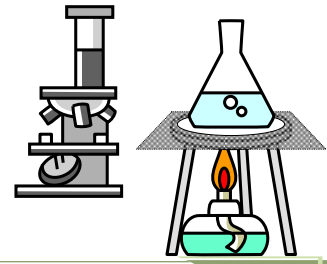
### ○予習の仕方

- (1) 教科書の次の授業範囲を読み、大切だと思うところにアンダーライン等を引きましょう。
- (2) 例題を解いてみましょう。
- (3) 解けなかった例題、問題に印をつけて、必ず質問する習慣をつけましょう。

### ○復習の仕方

- (1) 宿題は、その日のうちに必ずしましょう。
- (2) 復習をし、授業ノートの間違いを理解しましょう。
- (3) 毎日欠かさず勉強すること。不得意な人は毎日続けて勉強しましょう。
- (4) 計算力をつけましょう。そのためには、反復練習が必要です。
- (5) 本当にわかっているか、実際に問題を解いて、確かめましょう。
- (6) 解き方がわからないときは教科書の例題やノートを見ながら解きましょう。

# 理科



## 1 理科で何を学ぶのか

- ・自然の事物・現象に対する関心を高めるため。
- ・目的意識をもって観察・実験を行い、科学的に調べる力をつけるため。
- ・自然の事物・現象について理解を深めるため。
- ・科学的な見方や考え方を養うため。

## 2 授業中は

- (1) 授業の始まる3分前には、理科室への移動を完了し、授業の準備をして静かに待ちましょう。
- (2) 観察、実験には積極的に参加し、自分で気づいたことを記録したり、お互いの疑問点を出し合ったりして学習を進めましょう。
- (3) 観察、実験中には、危険な薬品や器具もあるので、先生の注意をよく聞き、安全面に気をつけましょう。
- (4) 今日の課題について、自分なりの考え・予想を持って授業を受けましょう。
- (5) わからない所や不思議に思ったことは友達や先生に質問しましょう。

## 3 家庭では

### ○予習の仕方

- (1) 次の授業で学習するところは、教科書を読んで、大まかな見通しを立てておきましょう。また、すでに学習したところで関係あるところも目を通しておきましょう。
- (2) 観察、実験の場合は、目的、準備、方法、結果の予想、安全性について、十分調べて頭に入れておきましょう。

### ○復習の仕方

- (1) 授業中の学習を思い出しながら、習ったことをノートに整理して書きましょう。
- (2) 学習したことを忘れないように、教科書、ノートを見ながら、サポート（問題集）を解きましょう。

# 英語科



## 1 英語科で何を学ぶのか

「英語なんて必要ない!」という人にたまに会います。しかし、日常生活のなかには日本語の中にまぎれて英語(の単語)が多く使われています。実際、英語や外来語を使わずに会話をしてみてください。とても難しいと思うのです。さらに、世界で一番幅広く使われているのが英語だということを知っていますか?もしも日本語だけでなく英語も話したり、聞けたりすることで、世界中に友達を作ったり、旅行をしたり、仕事をしたりと行動範囲を広げることができます。

また、英語の授業では言葉を学ぶだけでなく、文化も学習します。外国の生活習慣などを知ることで、新しい発見ができるとともに日本の良さに気付くことができます。英語を話す・聞く・読む・書くことを身につけてこれからのみなさんの視野を広めてほしいと思います。

## 2 授業中は

- (1) 英語の授業ではノートをとることだけが勉強ではありません。50分の授業の中でたくさん使う(話す・聞く・読む・書く)ことを意識しましょう。
- (2) 声を出すことを「恥ずかしい」と思っては伸びません。まちがえて当たり前でなくて当たり前くらいの気持ちでチャレンジしましょう。
- (3) ALTの先生とたくさん話しましょう。学んだことを実際に使うことで本物の力になります。
- (4) 話すときは話す、聞くときは聞く、読むときは読む、書くときは書く、のけじめをつけましょう。
- (5) 英和・和英辞典をすすんで使いましょう。
- (6) わからないことがあれば積極的に質問し、解決しましょう。

## 3 家庭では

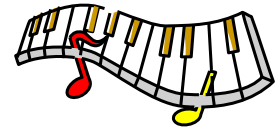
### ○ 予習の仕方

- (1) 次の授業時間で学習するページの「覚えたい語句(新出語句)」の意味を調べておきましょう。
- (2) 次の授業時間で学習するページの「本文」と「基本文」をノートに書き写しておきましょう。

### ○ 復習の仕方

- (1) 1日1ページ単語、重要文などを書いて覚えましょう。書く力を伸ばすためには慣れることが不可欠です。授業で習った単語や重要な文をすぐに復習するのが効果的です。
- (2) 授業で学習したページを音読しましょう。暗唱できるまで読めば、話せるようになる近道です。
- (3) 教科書のページにあわせて、ワークブックを進めましょう。まとめてやるのではなく、ページごとに問題を解いて理解を深めましょう。

# 音楽科



## 1 音楽科で何を学ぶのか

- ・音楽の良さを感じ取り感動する心を育てるため。
- ・様々な音楽活動の楽しさを体験することを通して、生活を豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいけるようになるために学習をします。

## 2 授業中は

- (1) 移動を早くしましょう。スリッパをきちんと並べ、静かに音楽室に入りましょう。
- (2) 音楽室に入ったら音楽の始まりです。
- (3) 毎時間目標をもって授業に臨みましょう。
- (4) 学習用具をそろえ、真剣な態度で臨みましょう。
- (5) チャイムと同時にウォーミングアップとして、校歌とクラスで選曲した曲を歌います。
- (6) 詩の意味を考えながら、言葉を大切に歌いましょう。
- (7) 楽器を大切に扱い、美しい音色が出せるように工夫しましょう。
- (8) 集中して静かに聴きましょう。
- (9) 恥ずかしがらずに自分の気持ちを歌や楽器や言葉で表現しましょう。
- (10) 仲間と心を合わせ、一人では味わえないハーモニーのすばらしさを体感するなど感動を共有しましょう。

## 3 家庭では

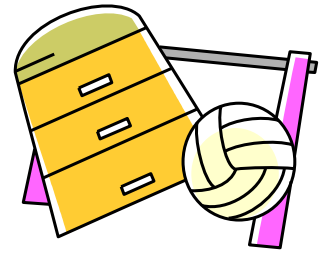
### ○予習の仕方

- (1) 前の授業でできなかったところや、練習が必要なところは自主的に練習をしましょう。
- (2) TVやラジオ、CD等で、日頃から音楽に親しむように心がけましょう。

### ○復習の仕方

- (1) 音楽は週に1時間です。学習したことを忘れないように、反復練習をしましょう。
- (2) たまには演奏会に出かけて、生の音楽にふれてみましょう。音楽室やCD、DVDでは味わえない空気や雰囲気を感じることで、自分の感性も磨かれます。

# 保健体育科



## 1 保健体育科で何を学ぶのか

保健体育の学習では、体育実技分野・保健体育分野の学習を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現と健康を適切に管理する能力を培うことを目標としています。つまり保健体育科は、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯を通じて運動に親しむことで、たくましい心身を育てることを目指した学習です。

## 2 授業中は

- (1) 時間を厳守しましょう。
- (2) 体育服を正しく着用しましょう。
- (3) 見学者は授業前に必ず担当の先生に連絡し、指示を受けましょう。  
(見学者もできるだけ体育服を着用します)
- (4) 体育器具・用具の準備は、保体部を中心に安全に注意してみんなで協力して行いましょう。
- (5) 準備・整理運動をしっかり行いましょう。
- (6) 自分の課題やチームの課題を持ち、練習の仕方を考えたり工夫したりして、課題を解決していきましょう。
- (7) 先生の話をよく聞き、その時間の授業内容の流れをしっかり頭の中に入れてみましょう。
- (8) 実技中の先生や友達からのアドバイスは、素直に受けましょう。
- (9) 体育器具・用具の片付けは、みんなで協力してすばやく行いましょう。

## 3 家庭では

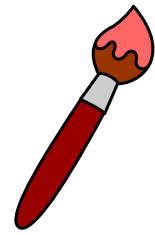
### ○予習の仕方

- (1) 新しい単元にはいるときはには、その競技のルールや技術のポイントを調べておきましょう。
- (2) 保健では、復習を中心に学習します。
- (3) 前の時間までにできなかったことや、次の時間の自分なりの目標をはっきりさせておきましょう。

### ○復習の仕方

- (1) 日頃から、運動に積極的に親しみましょう。
- (2) 部活動にも積極的に取り組み、体を鍛えましょう。

# 美術科



## 1 美術科で何を学ぶのか

美術で表現することの楽しさを、味わいましょう。  
皆さんの身の回りには、いろいろな「もの」があります。それは「絵」だけでなく電気製品や家具、乗り物、食べ物、建物、服、広告、おもちゃ、道具……など、様々です。それらは、どれ一つをとっても「ひとりでにできた」ものではありません。すべて「誰かが作った」ものです。言い換えれば「誰かがデザイン」したもののなのです。美術は「もの」を作る教科の一つで、皆さんの生活にとっても深くかかわっています。自分の気持ちや発想をいろいろな「絵」や「もの」に表現してみましょう。そして豊かでうるおいのある生き方をしましょう。その創造する楽しさこそが「美術」なのです。自分なりのやり方で、思いどおりに、計画的に表現できる力を身につけましょう。自分の気持ちを表すには、それを作品として仕上げる力が必要です。すぐに絵がプロ並みにうまくなるわけにはいきませんが、授業にしっかりと取り組めば、きっと自分だけの表し方（個性）を見つけることができるでしょう。先生はそのための手助けをします。しかし、あまりにも「行き当たりばったり」の制作方法では、せっかくの作品が完成しないかもしれません。計画的に作品を制作する力を身につけるようにしましょう。さらに、完成した素晴らしい作品やプロの作品を鑑賞して、制作のヒントを見つけたり、感動を味わったりしましょう。

## 2 授業中は

- (1) チャイムが鳴ったときには、美術室にいるようにしましょう。
- (2) 授業開始までに制作の準備をしましょう。  
※友達とあまり相談しすぎないで、きちんと自分の座席に着席して、自分だけの作品を工夫しましょう。  
友達と同じような作品では、あまりよくありません。
- (3) 手間を惜しまないで、我慢強く取り組みましょう。  
※作品を未完成のままにしたり、提出しないような場合には当然評価（成績）が下がります。必ず作品を完成させて、提出するようにしましょう。

## 3 家庭では

### ○予習の仕方

- (1) 次時の授業の「用具の準備」と「心の準備」のために、事前に学習をしましょう。

### ○復習の仕方

- (1) テレビでの芸術番組を見たり、美術館・展覧会などに出かけたり、授業以外で様々な所で美術にふれましょう。

# 技術・家庭科



## 1 技術・家庭科で何を学ぶのか

- ・ 生活や技術に関心を持ち、意欲的に取り組む。
- ・ 生活を快適に営むために工夫し、創造する。
- ・ 生活に必要な基礎的な技能を身につける。
- ・ 生活や技術について理解し、知識を身につける。

## 2 授業中は

学習に当たっては、今日の学習の課題をしっかりと把握し、最後まで粘り強く、真剣な態度で授業に臨みましょう。

- (1) 学習の課題を、しっかり考えておきましょう。
- (2) 工夫創造して課題の解決方法を考えましょう。
- (3) お互い助け合い、最後まで根気強く取り組みましょう。
- (4) 自分の意見は積極的に述べるようにしましょう。
- (5) よりよいものを作るにはどうしたらよいか考えながら学習しましょう。
- (6) 作業は安全に気をつけ、計画的、合理的に進め、時間や材料を有効に使いましょう。
- (7) グループで行う場合、自分の役割は責任を持って果たし、協力して行いましょう。

## 3 家庭では

### ○予習の仕方

- (1) 「授業でどんなことを学習するのか」、教科書をよく読みましょう。
- (2) 実習の時は、作業行程表を見て、次にどんな作業をするのか確認し、忘れ物がないようきちんと準備しましょう。

### ○復習の仕方

- (1) 学習したことをさらに発展させ、応用力を養うために、家庭の中で実践できるものは積極的に取り入れましょう。
- (2) 技術が、私たちの生活にどのように役立っているかという視点で、新聞、雑誌を見ましょう。

